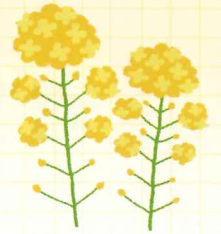




ふくし 福祉の里 さと



発行：岩手県立福祉の里センター

〒022-0006 岩手県大船渡市立根町字田ノ上30-20

電話(代表) 0192-27-0294 FAX 0192-27-4386

2022年度 年間事業計画

●社会福祉従事者等専門研修会

- ・開催 年5回予定
- ・会場 研修室

●岩手県ふれあいポッチャ大会

- ・開催 6月下旬予定
- ・会場 ふれあいホール

●福祉の里センター杯

グラウンド・ゴルフ岩手県大会

- ・開催 9月上旬予定
- ・会場 大船渡市盛町盛川河川敷公園

●気仙シニア大学

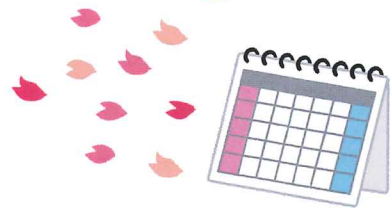
- ・開催 毎月1回第4木曜日
- ・会場 研修室

●岩手県ポッチャ大会

- ・開催 毎月1回 (8月を除く)
- ・会場 ふれあいホール

●ほっぷ・すてっぷ・ソング

- ・開催 毎月2回予定
- ・会場 ふれあいホール



●いきいきニュースポーツ体験

- ・開催 毎月第3土曜日
- ・会場 ふれあいホール

●サマースクール

- ・開催 7月下旬
- ・会場 未定

●ウィンタースクール

- ・開催 12月中旬
- ・会場 研修室



美術ボランティア

・皆さまの手作り作品を当センターに展示しております。ご自慢の作品を披露しませんか。作品展示をご希望の方は当センターまでご連絡ください。

子育て支援「あおぞら」

・当センターの2階に、絵本、ブランコ、すべり台などを用意しております。お気軽にご利用ください。

★時間 10時～12時 13時～15時(年中無休)

※12時～13時は換気・消毒のためご利用できません。

★対象 小学校低学年まで

※保護者付添いのご利用ください。



2022年度

岩手県立福祉の里センター事業案内

福祉の里センターは、研修や会議、スポーツや宿泊保養などで利用することができます。スロープや障がい者用トイレ、オストメイト用トイレの設置など、高齢者や障がいのある方にも利用しやすい施設です。

社会福祉に関する研修・啓発等を行うことで、県民の皆さまの福祉意識の高揚を図る事を目的とした活動をしております。また、各事業は当センター内で実施するほか、県内各地域や学校などに出向いての実施も可能です。

今年度も、様々な事業を計画しておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

キャップ・ハンディ体験

キャップ・ハンディ体験とは、ハンディキャップを持つた方の状況を疑似的に体験することです。障がいのある方の置かれている状況や環境、障がいに対する理解を深めていただくための活動です。対象は小学生以上です。高齢者疑似体験は小学5年生以上が対象です。

●**下肢障がい体験〔45分〕**
車いすに乗り、操作方法、介助方法を学習します。



●**高齢者疑似体験〔90分〕**※小学5年生以上
装具を装着し、高齢者の日常生活の一部を疑似的に体験します。高齢者の気持ちや高齢者がどのようなところに困難を感じているかを学習します。



●**視覚障がい体験〔各45分〕**
●**白杖体験**
アイマスクをして、全盲の状態を疑似的に体験します。白杖の使い方、介助方法を学習します。
●**点字体験**
点字の仕組みを学習し、器具を使って実際に点字を打つ体験をします。



社会福祉従事者等 専門研修会

福祉施設等に従事している方を対象に、高齢者支援、児童支援、相談支援など、多岐にわたる内容で研修会を実施しております。

今年度も、より一層の研修内容の充実を図りたいと考えております。内容の詳細や日時につきましては、決まり次第ご案内いたします。

ふれあい

ポッチャ大会

コロナ禍により中止が続いておりましたが、当センターでは、障がいのある方を対象とした大会を開催しております。

日頃からポッチャ競技に取り組まれている方々に練習の成果を競う場を提供するとともに、大会を通して交流と親睦を図る事を目的としております。

【開催】6月下旬予定

【対象】健常者及び

障がいのある方



ニユースポーツ教室

ニユースポーツは、年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも楽しむことができるスポーツです。運動量の多いもの、頭脳戦のものなどいろいろな種類があります。

当センターでは、20種類以上のニユースポーツを体験することができます。当センター以外でニユースポーツを希望される場合は、ご希望の場所に指導員が用具を持参し、指導をいたします。公民館や会議室、置の部屋など、場所を問わずに体験できる競技もありますので、お問い合わせ、ご相談ください。

ニユースポーツの指導は無料です。学校の親子行事や子ども会、地区公民館行事、職場でのレクリエーションなど、様々な場面でお楽しみいただいております。体験を希望される場合は、お早めにご連絡ください。また、用具を無料で貸出しております。用具は数に限りがございますので予めご了承ください。



気仙シニア大学 受講生募集

この大学は、講義の聴講や課外学習を通して新しい知識を身につけ、仲間との交流を深めることを目的とします。

月に1回、第4木曜日の10時から12時まで、自然や歴史、文化、健康など、さまざまな専門分野の講師をお迎えし、講義を行います。

期間は、5月から翌年2月までの1年間とし、翌年度も受講希望される方は継続して受講できます。また、皆勤賞としてささやかな記念品を贈呈しています。

気仙管内在住の60歳以上の方であれば、どなたでもお申込みできます。

受講料は1講義につき500円（障がい者手帳をお持ちの方は免除）です。

現在、令和4年度の受講生を募集しております。知識を深めたい、新しいことを始めたい方など、是非ご入学をお待ちしております。

【締切】令和4年5月13日



グラウンド・ゴルフ大会

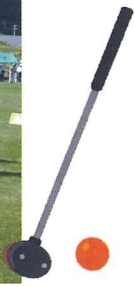
岩手県内のグラウンド・ゴルフ愛好者が一堂に会しグラウンド・ゴルフ競技を通じて、親睦と融和を図る事を目的として開催しております。

毎年、多くの方にご参加いただいておりますが、昨年、一昨年はコロナウイルス感染防止の為中止いたしました。

今年度も大会を予定しております。コロナウイルス感染予防対策を講じて開催いたしますので、県内各地から多くの参加者をお待ちしております。

【開催日】9月上旬予定

【会場】盛川河川敷公園



サマースクール

気仙地域在住の小学生と保護者を対象に、野外活動や作品制作を通し、他校児童との交流を図ることを目的として開催いたします。

昨年は「謎解きゲーム」と題し、当センター館内に設けた「なぞなぞ」「まちがいさがし」「ものしり」「ひらめき」「チャレンジ」「里センター謎解き」の部屋を、親子や友達同士のペアでまわり、力を合わせ、さまざまな謎に挑戦しました。ゲーム終了後は、全員で名探偵認定証を手にとり写真撮影を行いました。

今年度も、夏休みの期間に楽しめる企画を予定しておりますので、みなさんの参加をお待ちしております。

【開催日】7月下旬予定

【対象】気仙在住の小学生親子



ウインタースクール

気仙地域の親子を対象に、作品制作を通し親子の絆を深めると共に、他校児童との交流と親睦を図ることを目的として開催いたします。

昨年は「手作りコースター&バルーンアート体験」として、ガラススタイルを使ったコースターを制作しました。

さまざまな色や形のガラススタイルを木製コースターの表面に貼り付け、すき間にセメントを埋め込み完成させました。合間にはバルーンアートにも挑戦し、親子で犬2匹を制作しました。

今年度も親子での創作を予定しておりますので、ご参加をお待ちしております。

【開催日】12月中旬予定

【対象】気仙在住の小学生親子



岩手県ポッチャ大会

この大会は、ポッチャ競技を通じて人に優しい福祉活動の精神を理解し、県民の親睦と融和を図り、福祉活動の向上に寄与することを目的としています。

月に1回、岩手県ポッチャ協会が主催、当センターが主管で大会を実施し、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら競技を行っています。試合方法は予選リーグを行い、上位のチームによる決勝トーナメントで優勝を決定しています。表彰は1位から4位までに賞品を授与しています。

どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

【参加資格】

岩手県ポッチャ協会員（非協会員は大会時に登録して出場できます）

競技は1試合3名で行います。1チーム4名まで登録可能で交代出場を認めるものとします。

【参加費】

1チーム 900円（大会当日に受付でお支払いをお願いします）

2021年度

岩手県立福祉の里センター事業報告

社会福祉従事者等 専門研修会

今年度は、岩手県レクリエーション協会の村上福導先生、今松旭先生を迎え、『3密に注意しながら参加者同士の交流が深まる福祉施設・地域活動で活動できるレクリエーション支援法』のテーマで2回開催しました。

受講者の多くは、レクリエーションの進行や声掛けの仕方、内容のマンネリ化に悩み、日頃の業務に不安を感じているようです。

実技や講義、ニュースポーツ、クラフト等の研修を通し、「レクは楽しむだけではなく、心の変化ということが分かり、「楽しませなきゃ」というプレッシャーが少し和らぎました。」「知識を身につけ、よりお年寄りに寄り添えるようになりたいと思います。」等、今後の業務に前向きな感想を多く頂きました。

今後も従事者の方々のニーズに合った研修を開催していく予定です。



ほっぷ・すてっぷ・ソング

今年度は、コロナの感染状況に応じて、中止せざるを得ない日が何度もありました。

その度に、残念、次を待っていると声をかけられ、毎回楽しみにして頂いている事に喜びと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

来年度も歌を通して心身をリフレッシュし、コロナ感染状況に左右されるこの時期を乗り越えて、参加された皆さんと一緒に笑顔いっぱいの時間を作っていきたいと考えていますので、どうぞ楽しみにいらして下さい。



キャップ・ハンディ体験

今年度は、小中学生を対象に39回のキャップ・ハンディ体験活動を実施しました。

・ 下肢障がい体験 (車いす)	12回
・ 視覚障がい体験 (白杖)	13回
・ 視覚障がい体験 (点字)	7回
・ 高齢者疑似体験	7回
合計	39回

当センターで実施した以外は、学校に出向いて体験を行いました。「一緒に住んでいるおばあちゃんにやさしくしたい」などの声が聞かれました。



気仙シニア大学

10月の講義は、気仙地域リハビリテーション広域支援センター医療法人勝久会介護老人保健施設気仙苑から、作業療法士の戸羽真広氏を講師に迎えました。

「健康生活いきいき習慣」と題し、認知症についての正しい理解と予防に向けた生活習慣について学びました。

主に、アルツハイマー型認知症の特徴や発症因子、生活習慣病の治療や社会活動への積極的な参加など、発症率に大きく関与する要因について、知識を深めることができました。

また、予防に効果的な手指を使った「健脳体操」にも挑戦しました。

終了後のアンケートでは「関心のあるテーマだった」「他人事ではない」などの感想を頂きました。

【今年度の講義】

- ・ 気仙の産金
- ・ 東北の大富豪 稲子沢鈴木家
- ・ 姿勢と健康

